

洛南だより

生徒努力目標

「気づき、考え、行動する。」



京都市立洛南中学校 平成31年2月1日発行 ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/rakunan-c/>

ふれあいスポーツフェスティバル

平成31年1月12日（土）と19日（土）

ふれあいスポーツフェスティバルを実施しました。午前9時30分～11時30分までの約2時間、洛南中学校区4小学校の5、6年生が、中学校の体育系の部活動を体験しました。

小学生は、スポーツ活動を通して中学生と交流することで安心して入学できるように、また、中学生は、体験活動を自分たちが中心となって進めていくことで、中学生としての自覚や責任を持つことを目的とし、毎年実施しています。

小学生は、2日間で222名が参加し、各部で基本練習やミニゲームなどに取り組みました。

小中学生が寒さを吹き飛ばし、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

小中学生が交流 人と人がつながる ふれあい活動



幸せについて

毎年、話題になる「サラリーマン川柳」の中に、以前、次のようなものがありました。

ゆめ
親の希望 つぎつぎ消して 子は育つ

確かに親というもの、我が子が生まれるまでは、ただ元気に生まれ育って欲しいと思うだけですが、いざ生まれるといろいろな期待をしてしまいます。しかし、我が子の成長とともに現実を知ることで、次々と期待が変化し、親なりの納得をしていくものだと思います。

幸せや喜びはどんな境遇の中にもあり、病気やけがを不幸だと感じるのは、人の先入観や生きる姿勢のあり方によるものだと思います。

一見、周りから「かわいそうだ、気の毒だ」と思われている人が、必ずしも不幸ではなく、逆に何不自由のない人が、他人が思うほど幸せでない例は、世の中にはよくあることです。

我が子をより幸せだと考えられる境遇の中におきたいという気持ちは、どの親も持つもので、そのことが親の夢や期待となります。そのうえで、我が子の能力や個性・適性ができるだけ正確につかみ、その範囲の中で生きることこそ「幸せ」であると、親としていかに理解するかが、真的能力の一つだと思います。

このように、皆さん、一生懸命育ててくれている方の期待を背負っています。プレッシャーを感じなくてもよいですが、そのことを忘れず、精一杯自分の「幸せ」をつかむ努力をしてもらいたいと思います。

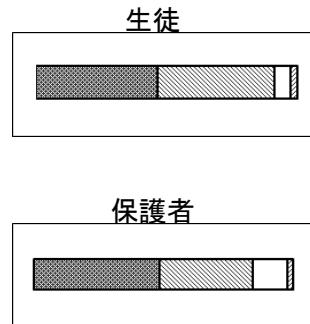
平成30年度 学校評価アンケート(生徒・保護者 12月)まとめ

学校は楽しい(1年生)

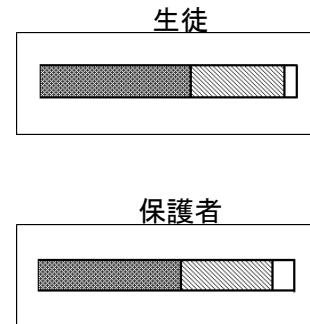
- 楽しい
- 楽しいほうだ
- どちらかといえば楽しくない
- 楽しくない

1
年

30年12月調査



30年6月調査



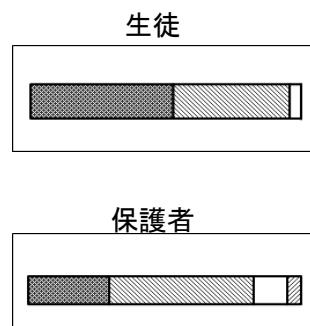
6月調査と同様く、概ね楽しく学校生活を送っています。行事が少なくなり、学習が中心となるこの時期には「楽しい」と回答する生徒が増えにくいと思われますが、ひとりひとりが活躍できる場面を工夫していきたいと

学校生活は充実している(2年生)

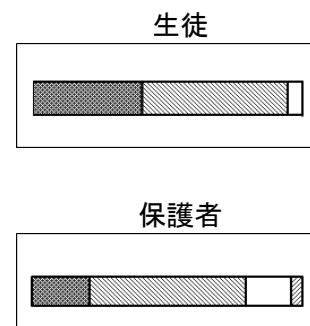
- している
- している方だ
- どちらかといえばしていない
- していない

2
年

30年12月調査



30年6月調査



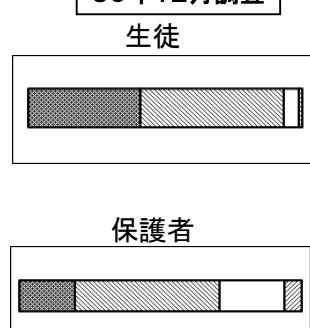
6月調査と比べると「充実している」と回答している割合が増えていています。行事だけではなく学年の取組や部活動等、学校生活の中核として活動できているのではないかと思います。3年生に向けての自覚も大切にしたいと思います。

3年生としての自覚を持って行動する(3年生)

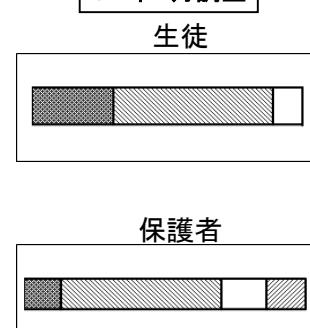
- している
- している方だ
- どちらかといえばしていない
- していない

3
年

30年12月調査



30年6月調査



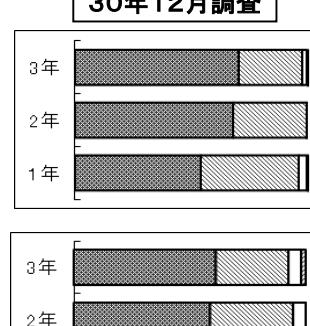
6月調査と比べると3年生としての自覚を持った行動ができるようになりました。部活動がなくなってからも行事などのリーダーとして活躍していることが自覚につながっていると考えられます。例年、生徒と保護者の回答にずれが見られる項目です。

気軽に話ができる友人が学校にいる

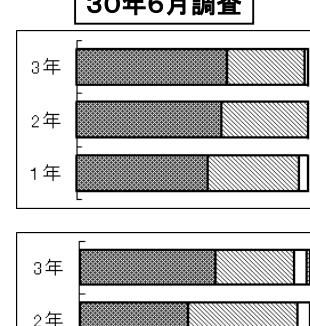
- たくさんいる
- いる
- あまりいない
- いない

生
徒

30年12月調査



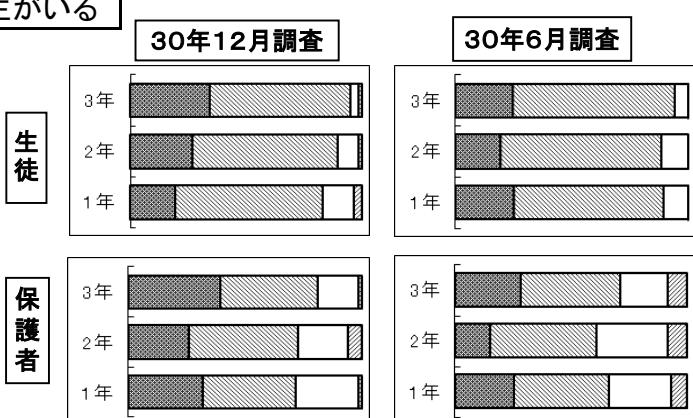
30年6月調査



6月調査と比べるとあまり大きな変化は見られず、多くの生徒に「気軽に話ができる友人」がいるようです。1年生では、中学生としての新しい人間関係が固まりはじめる時期ということも考慮に入れ、よりよい仲間づくりができるよう指導し

話をよく聞いてくれる先生がいる

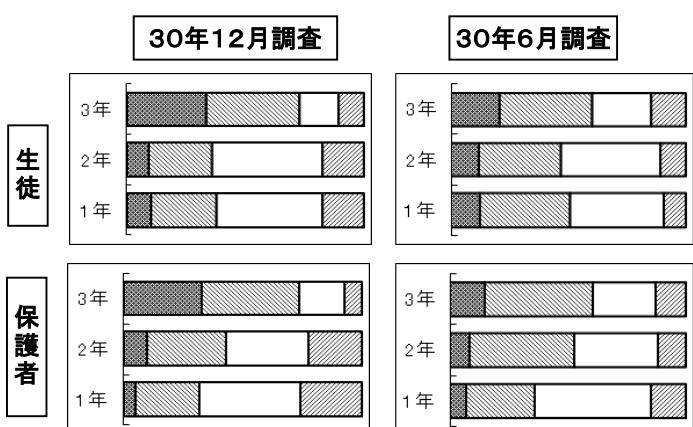
- たくさんいる(生徒)
- いる
- あまりいない
- いない



例年、6月調査と比べると増える傾向が見られる時期なのですが、1年生で逆の傾向が見られました。さまざまな取組を充実させるとともに、日常のコミュニケーションだけでなく、積極的な関わりを大切にしていきたいと思います。

家で学習している時間

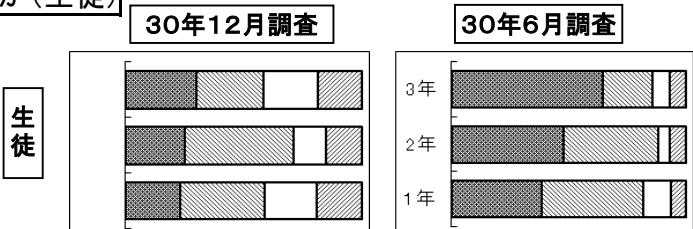
- 2時間以上
- 1時間程度
- 1時間未満
- していない



1年生では、中学生活の慣れからか学習時間が減り、3年生では進路を目前として学習時間が増える傾向があります。今年度の特徴として「予習・復習」の割合が高くなっていることです。家庭学習を進める取組が自学自習に繋がってきていると思われます。また、1・2年では、学習時間自体が短い生徒も多く「学充」を充実させるなど、家庭学習に積極的に取り組めるよう指導を継続したいと思います。

家庭学習の内容は何ですか(生徒)

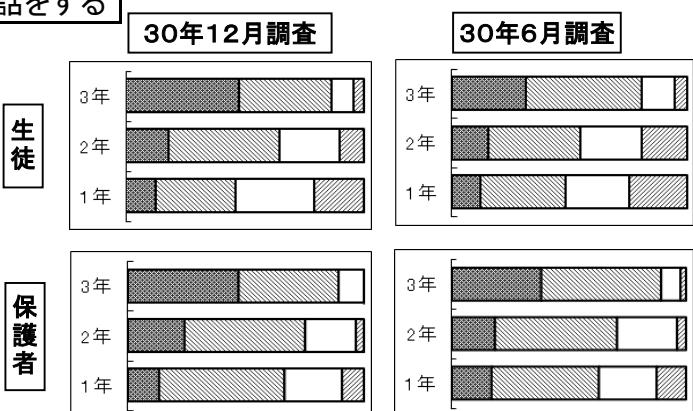
- 家庭学習課題
- 宿題
- 予習・復習
- それ以外



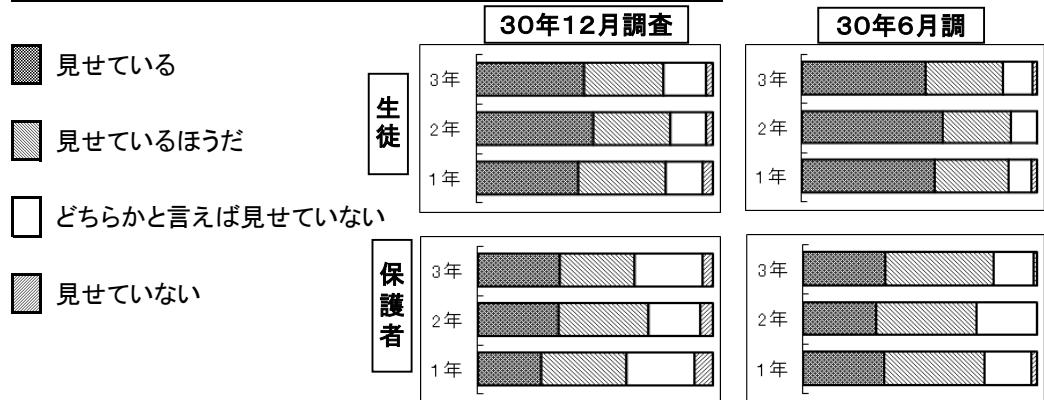
6月調査と比べると3年生での意識の高まりはみられるものの1・2年生での意識に課題が見られます。進路については、正しい情報と広い視野を持つことが大切です。1年生から進路について指導していますので、ご家庭でもさまざまな機会に話題にしていただければと思います。

家で将来(進路)について話をする

- している
- 時々している
- あまりしていない
- していない

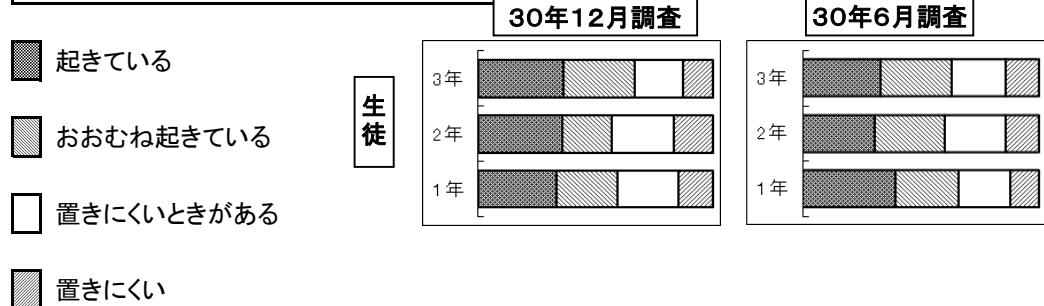


学校からのお知らせプリントを家の人に見せている



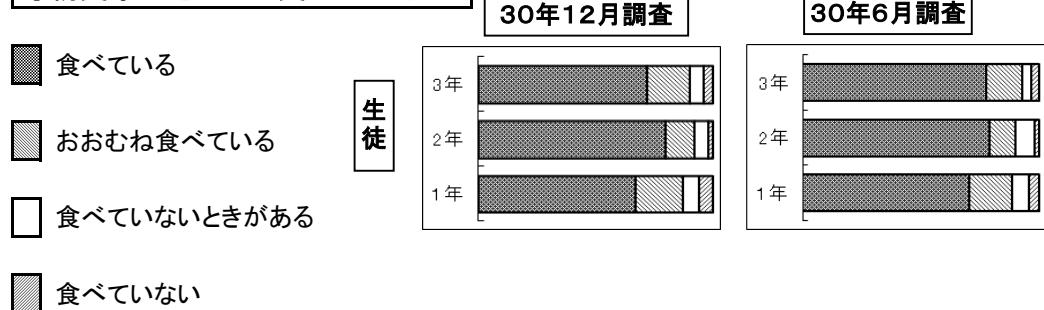
多くの生徒は見せているようです。大切なプリントもありますので、ホームページで学校行事なども見ていただき、プリントをもらっていないか確認をしていただくことも必要かと思います。プリント類は、毎日整理するようご家庭でもご指導をお願いします。

朝、すっきりと起きることができる



1年生で「起きにくい」生徒が増えています。「夜寝るのが遅いから」と回答している生徒が多く、ケータイ・スマホ・ゲームなどの利用の仕方等、ご家庭でも生活習慣の確認をお願いします。

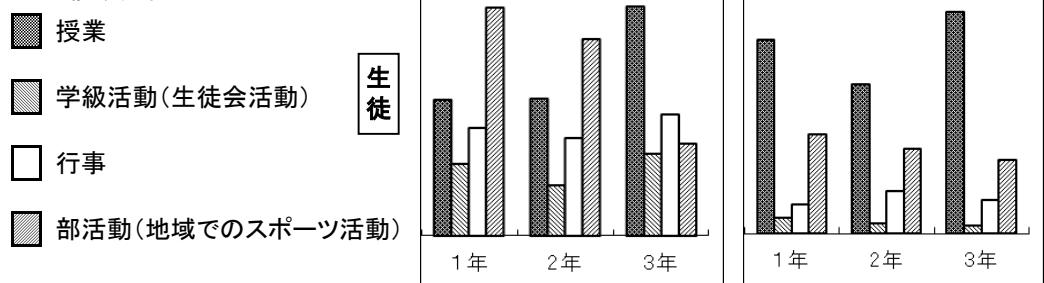
毎朝食事はきちんと食べている



ここ数年大きな変化が見られない項目です。朝食を食べることで、よい学校生活のスタートを切ることができます。しっかり食べる習慣を身に付けられるよう、ご協力をお願いします。

頑張っていると思う活動は何ですか

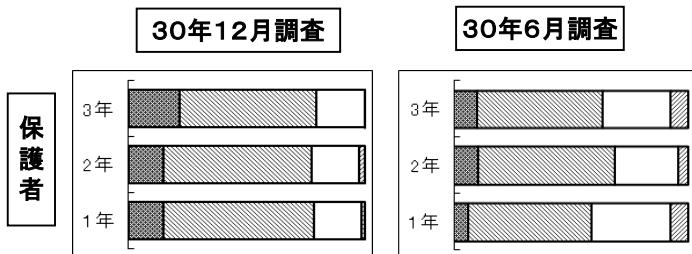
(複数回答)



6月調査と比べると「行事」「部活動」と回答する生徒が増え、学校生活が充実していると思われます。学習内容の設問と同様、3年生で学習に対する自覚の高まりがうかがえます。

先生とコミュニケーションがとれてい

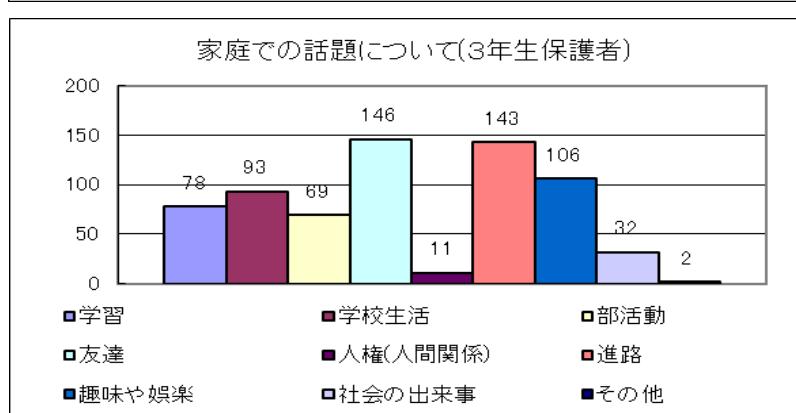
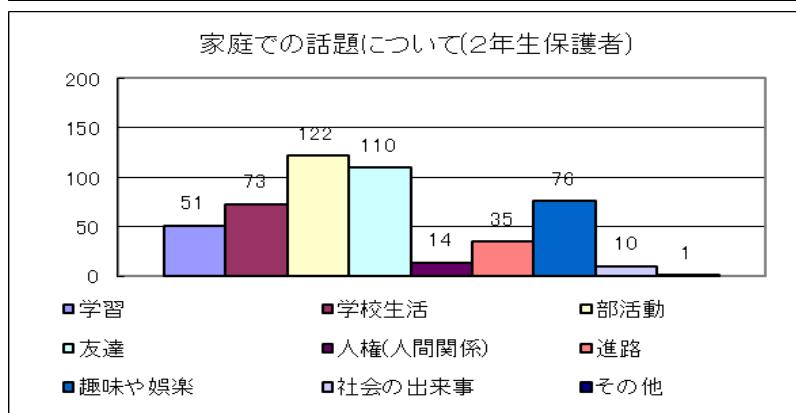
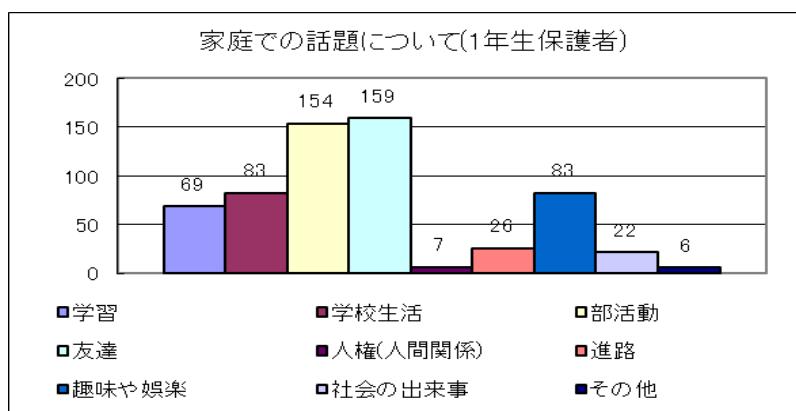
- よくとれている
- とれている
- あまりとれていない
- とれていない



6月調査と比べると全体的にコミュニケーションの機会が増えてきたようです。今後も進路の話や学校生活・家庭でのようすなど、さまざまな機会にコミュニケーションをとりたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

家庭での話題について(3つ以内の複数回答)

30年12月調査

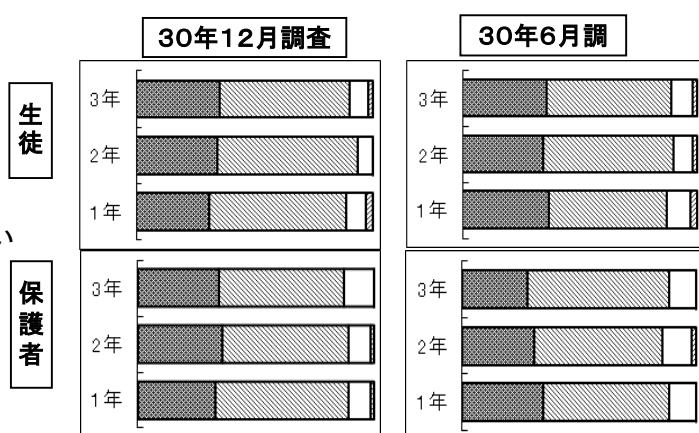


今年も昨年とほぼ変わらない傾向が見られます。どの学年も「友達」について話題にすることが多く、1・2年生では「部活動」、3年生では「進路」について話題にするが多くなる特徴があります。子ども達にとっては、目の前の関心事ですから話題としやすい内容です。

人が意識して話題とすることが必要な項目として「学習」や「人間関係」「社会の出来事」が上げられます。これらの項目は、展望を持って進路選択をする上で大切ですので、保護者の方にも意識していただいて話を投げかけていただきたいと思います。

あいさつをしている

- 自らしている
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- ほとんどしていない



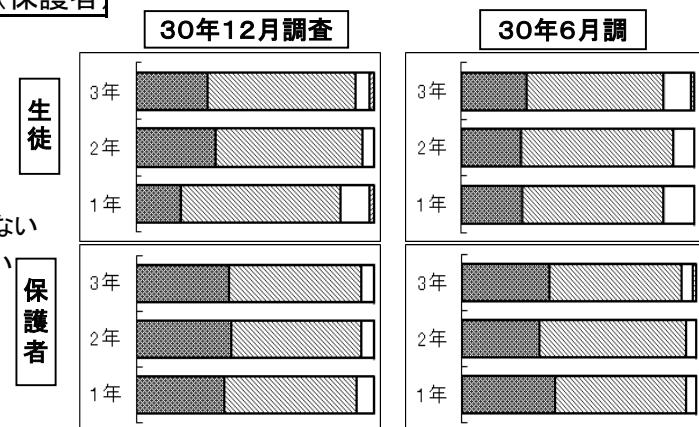
6月調査と比べるとあまり変化はなく、あいさつをしていると意識している生徒は多いのですが「自らしている」生徒がなかなか増えません。

あいさつをすることは、他者との関係が深まるだけでなく、よりよい一日を過ごすことができるので、今後も頑張らせたいと思います。

人の気持ちを考えた言葉かけや行動をしている(生徒)

まわりの人を大切にする(保護者)

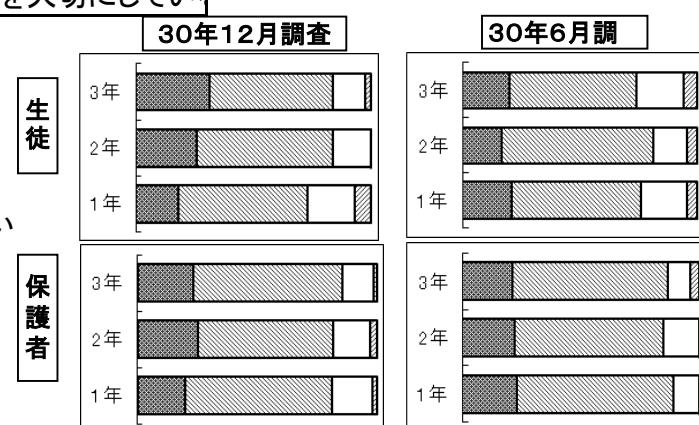
- できている(生徒)
している(保護者)
- できるほうだ
しているほうだ
- どちらかといえどできていない
どちらかといえどしていない
- できない
していない



今回も、生徒の自己評価が保護者の回答より低い傾向が見られます。1年生で「できている」と回答した生徒が減っていることから、今後も人権学習や道徳が日常生活に繋がるよう指導していきたいと思います。

自分の良さに気づき自分を大切にしている

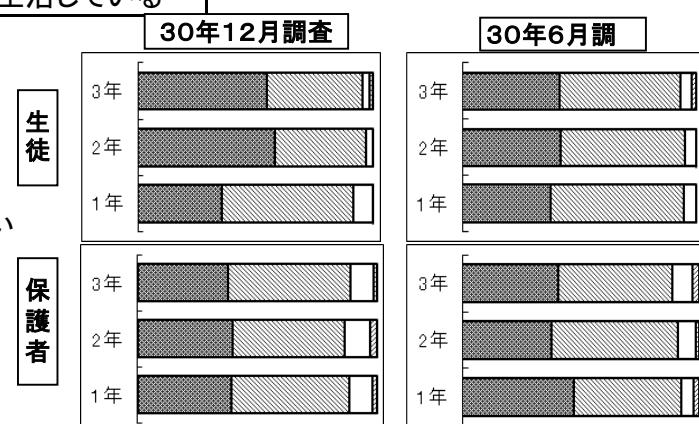
- している
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- していない



自尊感情の高まりが見られる設問ですが、6月調査と比べると1年生の高まりがあまり見られません。自己を見つめることは難しいことですが、周りの人がさまざまな活動の中で、良かったことを伝えることで、自己有用感の高まりにつながるのではないかと思います。

ルールやマナーを守って生活している

- している
- しているほうだ
- どちらかと言えばしていない
- していない



保護者の評価に比べて生徒の評価が甘い傾向が見られる設問です。6月調査と比べて、1年生ではあまり意識の高まりが見られません。学力や自己有用感等とも関連していますので、ご家庭とも協力して高めていきたいと思います。